



特集3 あなたが住む街からの情報発信への取組

(ICTを活用した新たな街づくりの紹介－4)

「真庭の森林を生かすICT街づくりプロジェクト」 (岡山県真庭市)

〔概要〕

本事業は、岡山県真庭市において、森林資源を生かした街づくりを図り、地域経済の活性化・雇用の創出に主眼を置きつつ地域が抱える諸課題の解決、災害に強い地域づくりを通じ、成熟都市におけるICTスマートタウンの先行モデルを構築する目的で、総務省平成24年度補正予算「ICT街づくり推進事業」に「真庭の森林を生かすICT街づくりプロジェクト」として提案し、採択された。

〔背景〕

真庭市は、岡山県の北部、美作(みまさか)地方に位置する地方都市(成熟都市)で、面積の8割を森林が占め、古くから「美作材」の産地として知られており、原木市場や製品市場の他、多くの製材・加工業者が集積している。近年では少子高齢化による労働力不足や林業離れによる森林の放置の課題が生じている中、真庭市では、地域の強みを生かした経済の拡大・雇用創出に向け、森林資源の活用に向けた産官学連携での取組を20年あまりにわたり推進してきた。平成27年には、産官学連携のもと、出力1万kw/h(真庭市内の全家庭電力需要に匹敵)の大規模な木質バイオマス発電工場の稼働が予定されている。このバイオマス発電工場をはじめとする森林資源の需要拡大に対して、森林資源を安定供給し、その活用を促進し、住民の参加や理解を促すためには、ICTの活用が必要となった。

〔概要〕

1) ロボットセンサー(無人ヘリコプター)を活用した森林資源モニタリング

★平常時:樹木の分布状況等の把握

★災害時:土砂災害、風倒木、雪害被害状況等の把握

2) 森林・林業クラウドの構築(インターネットを利用)

★森林整備計画の立案、保安林、林道などの適切な管理



- 3) 森林資源予測シミュレーションによる森林経営高度化支援
 - ★森林現況基礎データの作成
 - ★木質バイオマスエネルギーの安定供給に資する資源量推計
- 4) 交流プラットフォームの構築(公開ホームページ)
 - 情報発信するための基幹的な公開系ウェブサイト

[実施体制]

組織	役割
真庭市	事業計画立案・報告書作成等の事業全般の管理・統括
(一社)岡山中央総合情報公社	システム開発及び実証作業
岡山県森林研究所、真庭森林組合、真庭地区木材組合、真庭木材事業共同組合、真庭バイオマス発電組合、真庭システム協議会、西日本電信電話株式会社	本事業での開発・実証するICTの利用者。 システム要件や利用するシーンの検討等、部会での協議に参加。

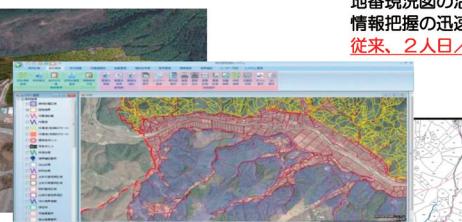
[事業の成果]

<事業の成果>

- ロボットセンサーを活用した森林現況把握が容易に可能。
作業時間がが1分／1区画に短縮。



- 森林林業クラウド(GIS)により大幅な効率化を実現。
林道の受益を受ける区域確認において、
林道一本につき約2人日要する作業が5分に短縮。
地番現況図の活用により、森林所有者情報把握の迅速化。
従来、2人日／1区画を要する作業が1分に短縮。



- 交流定住プラットホームを構築。
森林施設状況を公開するとともに、里山としての真庭市の魅力を全国にアピール。



- 岡山県森林研究所の指導により、森林資源量を予測する機能を搭載。
木質バイオマス発電所への燃料安定供給等、森林資源の活用シーン拡大に寄与。



[今後の展開]

- 1) 森林を守り、育て適切な保全を行う環境保全、また、山地災害対策の高度化
- 2) 共通IDの地番現況図の利用拡大として、農業分野での利活用を研究
- 3) 林業・地場産業の活性化による雇用創出・住民サービスの拡充
- 4) 里山資本主義的な真庭ライフの情報発信による、観光、雇用の促進

(問い合わせ先)

一般社団法人 岡山中央総合情報公社 総務課業務推進係

TEL:0868-66-2555 FAX:0868-66-2554

e-mail:soumu@jkousya.or.jp